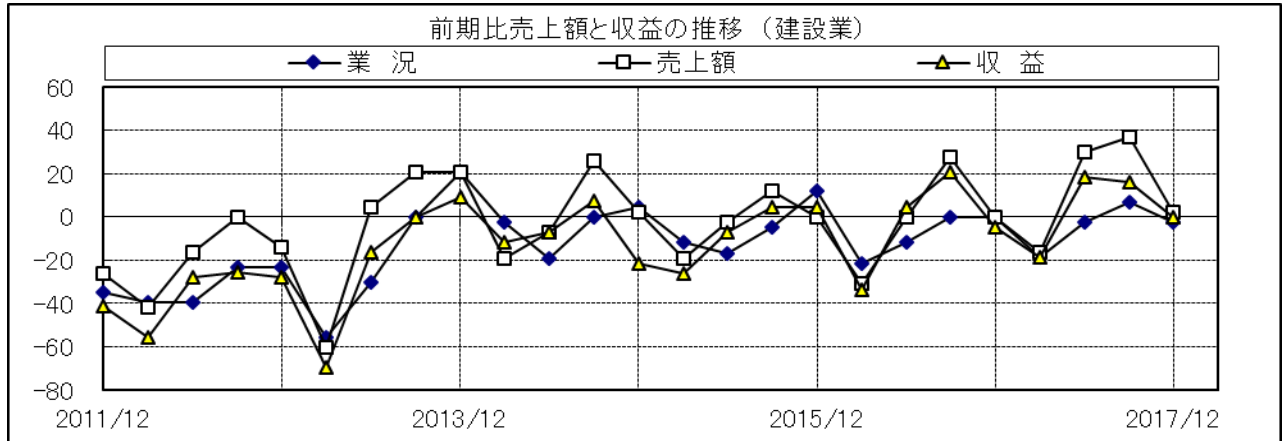


# 建設業 43 企業 (回答率 100.00%) の調査結果です

## □ 景 況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業 況	-2.4	7.0	-2.4	-23.3
売上額	30.2	37.2	2.3	-34.9
収 益	18.5	16.3	-0.1	-30.2

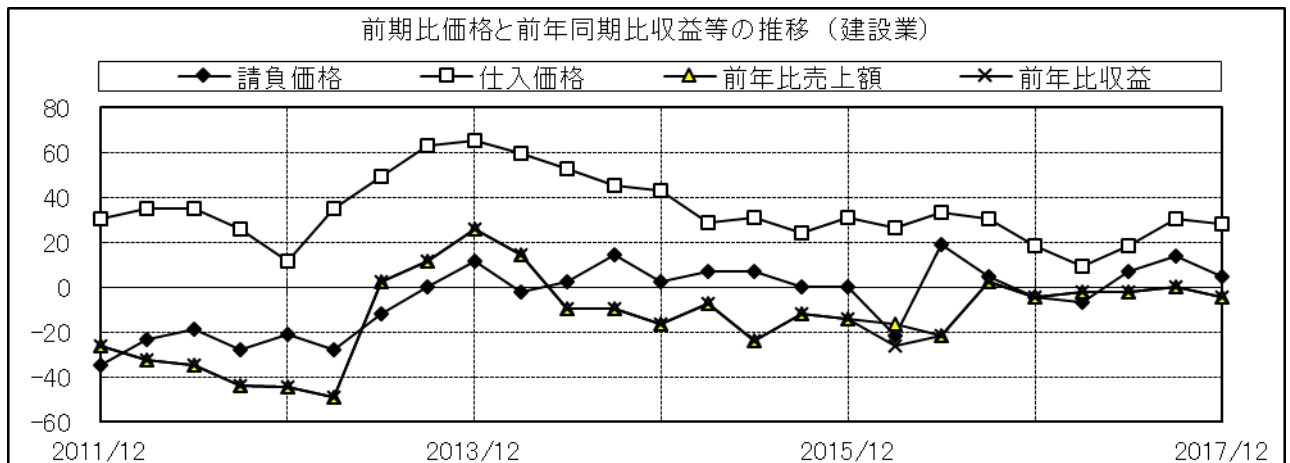
今期の業況判断 D. I. は  $\Delta 2.4$  で、前期比 9.4 ポイント下降、前年(0.0)比では 2.4 ポイント下降した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりもが一番高く、広尾、次に静内、様似が同率で続き、浦河、三石が同率で最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は、前期比で 34.9 ポイント下降した。収益判断 D. I. は前期比で 16.4 ポイント下降した。



## □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
請負価格	6.9	14.0	4.6	-16.3
仕入価格	18.6	30.2	28.0	11.6

請負価格判断 D. I. は 4.6 で、前期比 9.4 ポイント下降、前年( $\Delta 4.6$ )比 9.2 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 28.0 で、前期比 2.2 ポイント下降、前年(18.6)比 9.4 ポイントの上昇となった。



## □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	2.3	6.9	16.3	-13.9
人手状況	-16.3	-25.6	-23.3	-9.3

残業時間判断 D. I. は 16.3 と前期比 9.4 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は  $\Delta 23.3$  と、前期比 2.3 ポイント上昇し、人手不足感は若干弱まった。

## □ 設備投資の動き

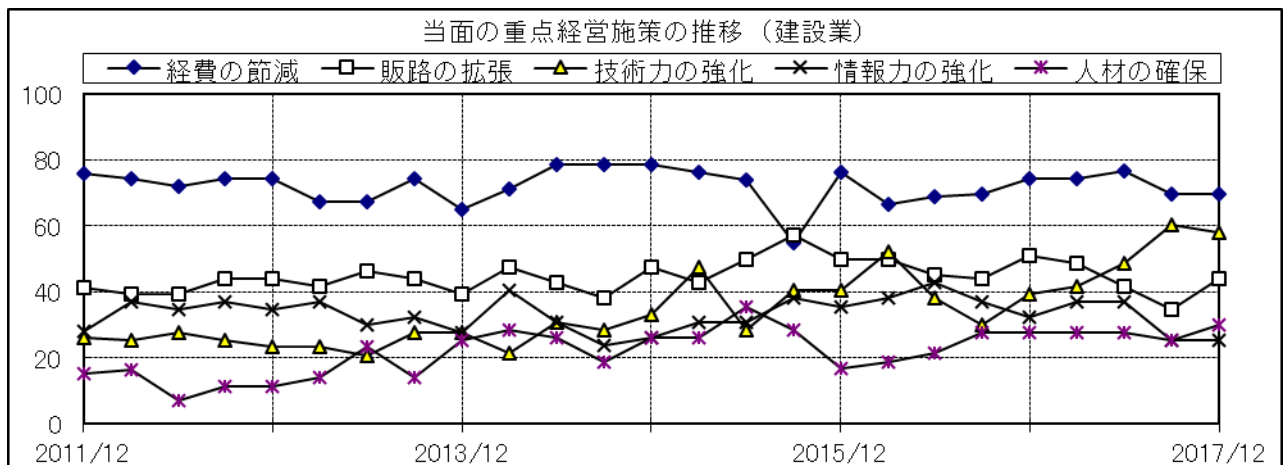
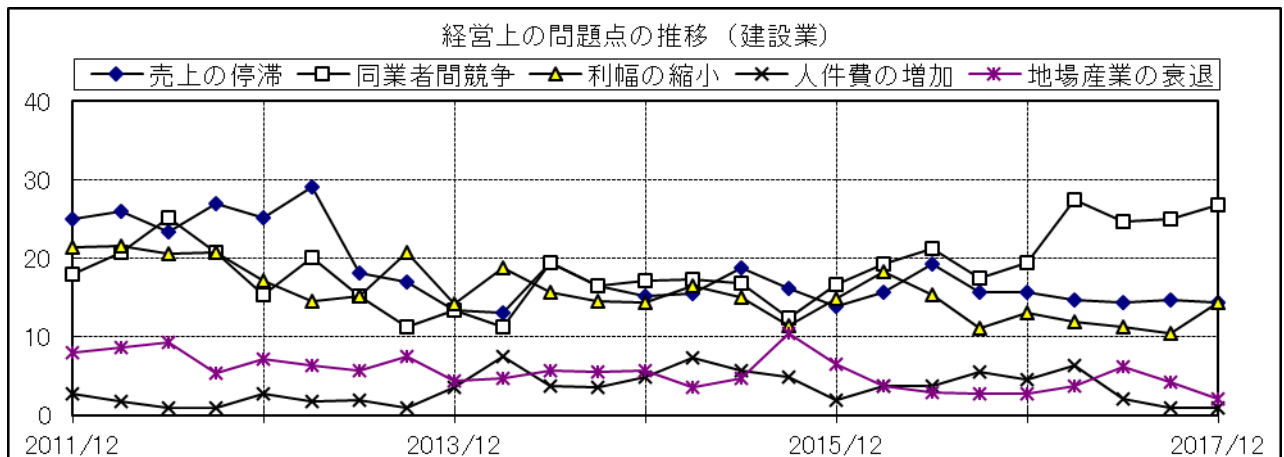
設備投資の充足感を示すD. I. は△4.6で、前期（△11.6）比で7.0ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は7.0と、前期(7.0)と同水準となった。設備投資は、前期3社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、2社の予定となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競争」が26.8%と最も多く、「売上停滞減少」・「大手企業との競争」・「利幅縮小」が同率の14.4%、「人手不足」12.4%、「下請け確保難」7.2%、「材料価格上昇」5.2%と続いている。

重点経営施策では、「経費削減」が69.8%と最も多く、「技術力強化」58.1%、「販路拡大」44.2%、「人材確保」30.2%、「情報力強化」25.6%と続いている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△23.3と、今期比20.9ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△34.9と、今期比37.2ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△30.2と、今期比30.1ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D. I. は△16.3と、今期比20.9ポイントの下降を見通している。

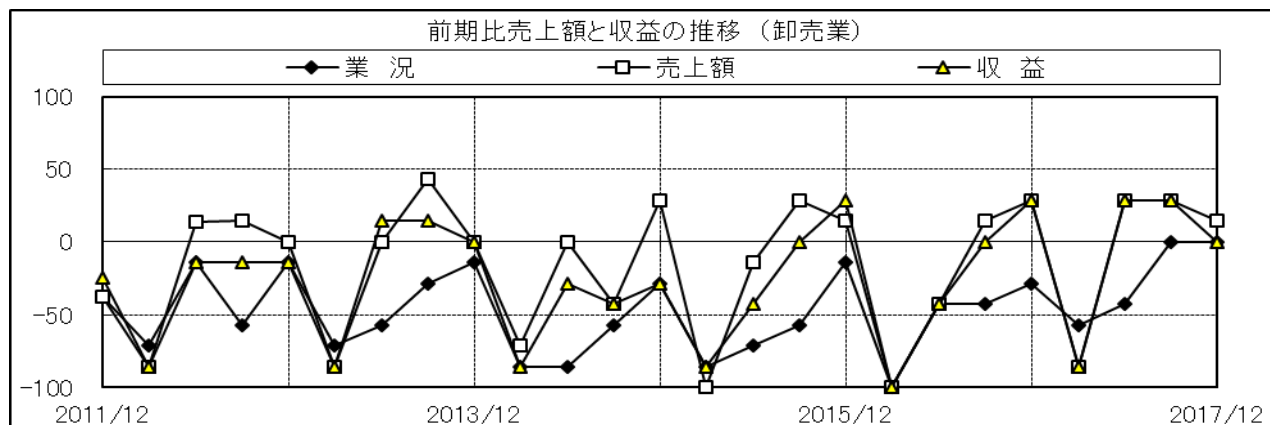
予想仕入価格判断D. I. は11.6と、今期比16.4ポイントの下降を見通している。

## 卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

### □ 景況

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
業況	-42.9	0.0	0.0	-42.9
売上額	28.6	28.6	14.3	-85.8
収益	28.5	28.5	0.0	-85.8

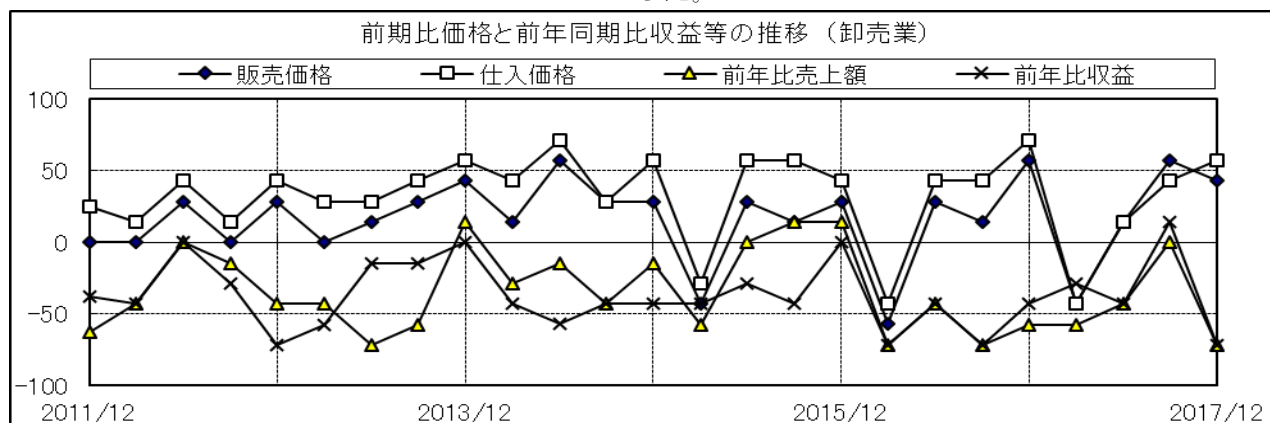
今期の業況判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となった、前年(△28.6)比で 28.6 ポイント上昇した。地区別の水準は、静内、浦河地区が上昇、様似地区は下降となった。売上額判断 D. I. は 14.3 となり、前期比 14.3 ポイント下降。収益判断 D. I. は 0.0 となり、前期比 28.5 ポイント下降した。



### □ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
販売価格	14.3	57.1	42.9	-28.6
仕入価格	14.3	42.8	57.1	-28.6

販売価格判断 D. I. は 42.9 で、前期比 14.2 ポイント下降、前年(57.2)比で 14.3 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 57.1 で、前期比 14.3 ポイント上昇、前年(71.5)比で 14.4 ポイント下降した。業種別では、水産業は販売・仕入価格ともに横ばい。食品業は、販売・仕入価格ともに下降した。



### □ 雇用面の動き

DI 値 の推移	4~6月 期実績	7~9月 期実績	10~12月 期実績	1~3月 期見通し
残業時間	0.0	14.3	0.0	-14.3
人手状況	-14.3	-42.9	-28.6	-28.6

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 14.3 ポイント下降、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。人手過不足判断 D. I. は △28.6 で前期 14.3 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

## □ 設備投資の動き

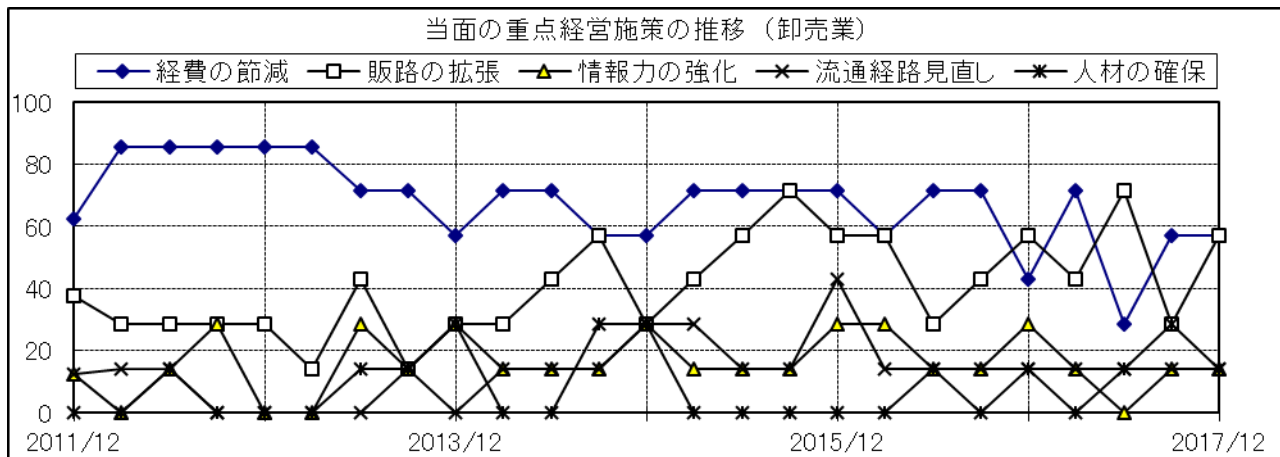
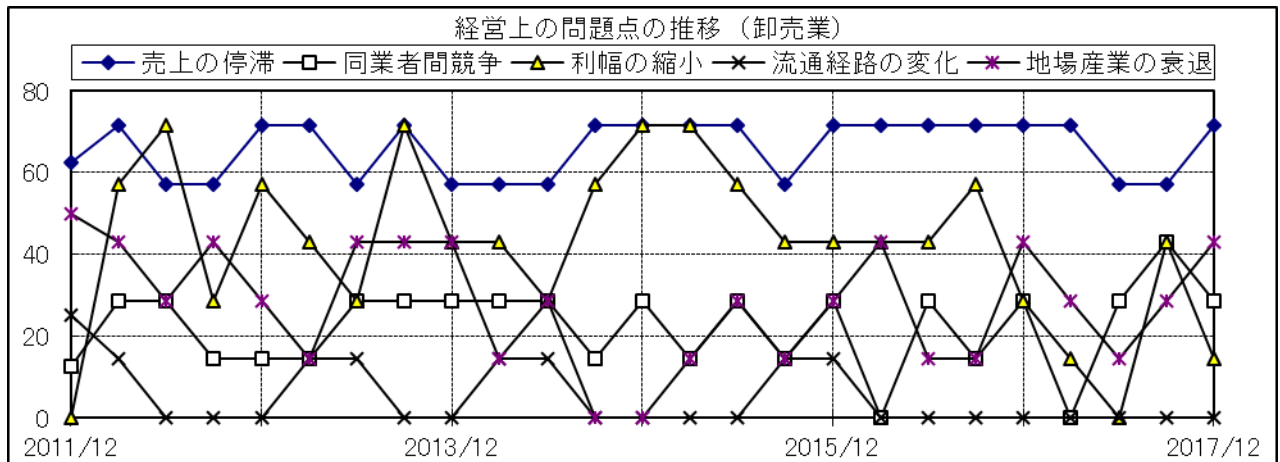
設備投資の充足感を示すD. I. は14.3で前期(0.0)比14.3ポイント上昇した。

設備実施企業割合は28.6で前期(14.3)比14.3ポイント上昇、設備投資は、前期1社に対し、2社の実績となった。来期の設備投資予定は0社となっている。

## □ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が71.4%と最も多く、「取引先減少」・「地場産業衰退」が同率の42.9%、「同業者との競合」28.6%、「利幅縮小」・「販売商品不足」・「天候不順」が同率の14.3%と続いた。

重点経営施策では、「経費節減」・「販路拡大」が同率の57.1%で最も多く、次に「情報力強化」・「新事業開始」・「人材確保」・「流通経路見直し」・「不動産有効活用」が同率の14.3%となっている。



## □ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△42.9と、今期比42.9ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△85.8と、今期比100.1ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△85.8と、今期比85.8ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は△28.6と、今期比71.5ポイントの下降を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は△28.6と、今期比85.7ポイントの下降を見通している。